

市町村名	南大東村						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	福祉民生課	事業実施 (予定)年度	H30～R3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9	
事業内容	本村には葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、住民福祉の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	23,279	233,024	0	199,438	0
		(b)予算現額	40,328	226,485	0	194,438	0
		(c)増減額(b-a)	17,049	▲6,539	0	▲5,000	0
		(d)繰越額	24,416		124,072		132,398
		A.計(b+d)	40,328	226,485	124,072	194,438	132,398
		B.執行済額	40,328	65,780	124,072	62,040	124,156
		うち交付金充当額	32,262	52,624	99,257	49,632	99,325
		次年度繰越額		124,072		132,398	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	29.0%	100.0%	31.9%	93.8%
予算の状況の説明	R2年度の当初予算額は165,595千円で計上したが工事費において、請負業者の渡航費用及び滞在費の実費精算に伴い、186,196千円に増額した。又、新型コロナ等の影響に伴い、調整等に不測の日数を要したため、令和3年度へ繰り越した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	監理業務継続及び完了	目標	(基本計画・基本設計・実施設計)	(監理業務)	(監理業務)	()	
		実績	基本計画・基本設計・実施設計完了	着手	継続及び完了		
	建築工事の継続及び完了	目標	()	(第1期分建築工事)	(第2期分建築工事)	()	
		実績		着手	継続及び完了		
達成状況説明	第2期建築工事及び監理業務を継続及び完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R4年度)
	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了	目標	()	(基本計画・基本設計・実施設計完了)	(建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了)	(建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事完了)	()
		実績		完了	完了	完了	
	【参考指標】 複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
	進捗状況説明	第2期分の建築工事は繰越により令和3年12月27日に完了した。					

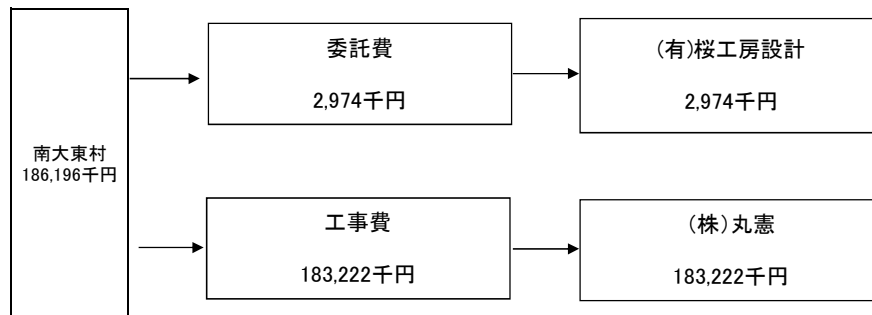
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>第2期分の新型コロナウイルスの影響に伴い、期日程等の調整に不測の日数を要し、令和2年度内の完了が困難となり令和3年度へ繰越となった。 又、令和4年度の供用開始後、複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合を80%以上を成果目標とし、達成出来るかが課題である。</p>	<p>新型コロナウイルス関連等の影響による、事故等が発生した場合の調整等を速やかに進めていくと同時に対応策を検討する必要がある。 令和4年度の供用開始後、複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合を80%以上達成出来るよう、葬儀に係る遺族や関係者の負担軽減を図る。</p>

今後の取り組み方針

新型コロナウイルス関連等の影響による、事故等が発生した場合の調整等を速やかに進めていくと同時に請負業者の感染対策及び安全確保に努めていく。又、令和4年度の供用開始後、複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合を80%以上を目標に取組を検討していく。(葬儀に係る負担の軽減につながったかアンケート等の実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
186,196	186,196	148,957	37,239	



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務及び工事請負の業者選定は指名競争入札により実施しており妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額29,307千円、不用率16.2%となったが、本事業他、保育所建設整備事業、学校屋内運動場整備事業、公営住宅整備事業の請負が同じ業者に伴い、渡航費用及び滞在費用等の実費精算を4事業で按分したため予算の節約につながり予算規模は縮小したが適正と考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。